

令和7年度 第2回リフレクション会議について

(令和7年5月14日)

講師

- 一般社団法人 School Transformation Networking 代表理事 山口 裕也 先生

協議内容

- ScTN 質問紙の結果をもとに、今後の教育活動の展開を考える。

内容

第2回のリフレクション会議では、4月当初に実施した「ScTN 質問紙」の結果をもとに、各学級や各学校の実態について把握し、今後の教育活動にどうつなげていくかを考える時間となりました。

会場参加に加えて、オンラインでの参加者も多く、互いの状況を超えて学び合う姿が見られました。

会の冒頭では、ScTN 質問紙の目的や設計について、山口先生より丁寧な解説があり、子どもたちの「声」を多面的に捉え、教育の質を見直す手がかりとなるツールであることが改めて共有されました。

分析の時間では、参加者それぞれが、自校の結果と向き合いながら考えを深めました。

一人で静かにデータを読み込む姿、グループで気になる項目を持ち寄って話し合う姿、山口先生に個別で相談する姿など、参加者一人ひとりが自分なりのやり方でデータを「読み解く」ことができました。

会場は参加者の明るい声があふれ、終始なごやかな雰囲気にも包まれていましたが、その中で交わされる会話には、子どもたちの姿やふだんの授業への真剣な悩み、葛藤がありました。

「この子たちにとって、何が一番大切か」「私たちにできることは何か」—そんな問いを、互いにぶつけ合い、丁寧に応答し合う対話がありました。

今後の ONE STEPpers の活動では、この分析を出発点として、子どもたちの変化を継続的に捉えながら、より良い学びの環境づくりへとつなげていく予定です。

